

# 伝統芸能に園児くぎ付け 扇寿栄之丞さんを講師に

2010年2月4日

日本の伝統文化を体験する取り組みがこのほど、大阪市阿倍野区昭和町4丁目のグレース幼稚園(加藤鉄三郎園長)で行われ、子供たちやその家族らは日本舞踊の魅力や三味線の音色を満喫していた。



出演者に花束を贈る園児ら

生で味わう機会の少なくなった文化を若い世代に知ってもらおうと、同園が行事として初めて企画。日本舞踊の扇寿流二代目家元、扇寿栄之丞さんを講師に招いて開いた。

栄之丞さんは、義太夫「二人三番叟(ににん

さんばそう)」で表現豊かな舞を披露し、端唄「春雨」などでは三味線を実演。大人向けの講習会では、三味線の仕組みや弾き方を紹介し、参加者と一緒にうたの練習も行った。

大人から3歳児まで舞台にくぎ付けになり、伝統芸能に触発された園児からは「あっぱれ」などの声も。思わず出演者から笑みがこぼれるなど、和やかな雰囲気にも包まれつつ交流を深めていた。

自ら日本舞踊に取り組み、今回の企画を担当した同園主事の加藤知子さんは「子供たちは思っていた以上に伝統芸能を身近に感じてくれた。この経験を将来に生かしてもらえれば」と成功を喜んでいました。

